

第 83 期

中 間 報 告 書

平成29年4月1日から
平成29年9月30日まで

株式会社 セコニックホールディングス

平成29年12月

株主のみなさまへ

代表取締役
社長 馬場 芳彦

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第83期第2四半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の営業の概況を、ここに中間報告書としてお届け申し上げますので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

1. 営業の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種経済政策により企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、米国の着実な景気回復をはじめ、アジア地域における景気を持ち直しの動きが続いているものの、各国の政策に関する不確実性や地政学的リスクについて、引き続き留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、主力の光学電子情報機器事業を中心に受注活動及び新製品の開発に注力しました。光学電子情報機器事業においては、前期の受託開発案件が終了したことで、当第2四半期連結累計期間は前年同期比減収減益となりましたが、新製品を投入した監視カメラについては採算性が改善傾向にあります。

電装機材事業は、前下期に基板実装事業から一部撤退した影響で前年同期比減収減益となり、事務機器事業は受注活動強化の結果、前年同期比増収となったものの、採算性は引き続き低く、減益となりました。

そこで、グループ生産体制の見直しによる収益の改善を図るため、平成30年3月31日をもって連結子会社の株式会社セコニックの安曇野事業所を閉鎖し、その生産業務を連結子会社の株式会社セコニック電子及び惠州賽科尼可科技有限公司に集約することとしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,331百万円（前年同四半期比17.6%減少）、営業損失は12百万円（前年同四半期は163百万円の営業利益）となりましたが、経常損益は、投資有価証券売却益の計上などにより、58百万円の経常利益（前年同四半期は63百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、34百万円の純利益（前年同四半期は、92百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、当期の配当につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績レベル等を勘案し、中間配当については、大変遺憾ながら見送りとさせていただきます、年間配当として、通期業績の状況等を勘案したうえで、期末配当に一本化して定時株主総会にお諮りする予定であります。株主のみなさまには、中間配当の見送りについて誠に申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後の見通しにつきましては、連結子会社の一部事業の撤退などによる減収影響はあるものの、新製品の投入が本格化する監視カメラでは、順調な販売と採算性の改善が見込まれます。

従いまして、通期の連結業績予想は、当初想定通りの、売上高8,000百万円、営業利益250百万円、経常利益250百万円、親会社に帰属する当期純利益150百万円を見込んでおります。

セグメント別の状況

事務機器事業

当事業は、複写機周辺機器及びプリンタの受注が増加したこと等により、売上高は1,101百万円（前年同四半期比12.3%増加）となりましたが、セグメント損失は43百万円（前年同四半期はセグメント損失31百万円）となりました。

光学電子情報機器事業

当事業は、入力機器及び監視カメラ等の受注減少により、売上高は1,245百万円（前年同四半期比34.8%減少）となり、セグメント利益については155百万円（前年同四半期比43.1%減少）となりました。

電装機材事業

当事業は、前年度に基板実装を事業譲渡したこと等により、売上高は816百万円（前年同四半期比18.0%減少）となり、セグメント損失は24百万円（前年同四半期は45百万円のセグメント利益）となりました。

ソフトウェア開発事業

当事業は、ソフトウェア技術者の派遣業務を推進し、売上高は58百万円（前年同四半期比16.9%増加）、セグメント利益は12百万円（前年同四半期比448.3%増加）となりました。

不動産賃貸事業

当事業は、商業施設等の賃貸により、売上高は108百万円（前年同四半期比1.5%増加）となり、セグメント利益は104百万円（前年同四半期比19.9%増加）となりました。

部門別売上高の状況（連結）

部 門	売 上 高	前年同期比増減率	構 成 比
	百万円	%	%
事 務 機 器	1,101	12.3	33.1
光 学 電 子 情 報 機 器	1,245	△34.8	37.4
電 装 機 材	816	△18.0	24.5
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	58	16.9	1.8
不 動 産 賃 貸	108	1.5	3.2
合 計	3,331	△17.6	100.0

主な経営指標等の推移（連結）

区 分	第81期 (平成27年度)	第82期 (平成28年度)	第81期 第2四半期	第82期 第2四半期	第83期 第2四半期
売 上 高 (百万円)	9,065	7,887	4,944	4,043	3,331
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△) (百万円)	△81	207	△15	△63	58
親会社株主に帰属する四半 期(当期)純利益又は四半期 (当期)純損失(△)	△338	158	△179	△92	34
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり四半期(当 期)純損失金額(△)	△197.69	92.52	△104.85	△53.89	20.14
総 資 産 (百万円)	8,635	8,468	9,267	8,450	8,233
純 資 産 (百万円)	5,015	5,350	5,269	4,912	5,423

(注1) 平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たりの四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失は、各会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(注2) 第83期第1四半期累計会計期間に表示方法の変更を行ったことから、上記各四半期累計会計期間及び各会計年度についても、当該変更を反映した組替後の経常利益又は経常損失を記載しております。

2. 連結決算ハイライト

○連結売上高 (単位 百万円)

第83期第2四半期			
3,331 百万円			
区 分	第80期	第81期	第82期
通 期	9,035	9,065	7,887
第2四半期	4,477	4,944	4,043

○連結営業損益 (単位 百万円)

第83期第2四半期			
△12 百万円			
区 分	第80期	第81期	第82期
通 期	6	109	305
第2四半期	41	7	163

○連結経常損益

(単位 百万円)

第83期第2四半期			
58 百万円			
区 分	第80期	第81期	第82期
通 期	329	△81	207
第2四半期	160	△15	△63

○親会社株主に帰属する連結純損益

(単位 百万円)

第83期第2四半期			
34 百万円			
区 分	第80期	第81期	第82期
通 期	71	△338	158
第2四半期	56	△179	△92

(注) 第83期第1四半期累計会計期間に表示方法の変更を行ったことから、上記各四半期累計会計期間及び各会計年度についても、当該変更を反映した組替後の経常損益を記載しております。

○通期の業績予想

(単位 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社に帰属する当期純利益
第83期通期 (予想)	8,000	250	250	150

(注) 上記の連結業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3. 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日現在)	前連結会計 年度 (平成29年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日現在)	前連結会計 年度 (平成29年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	5,483	5,740	流動負債	2,216	2,477
現金及び預金	1,957	2,162	支払手形及び買掛金	877	981
受取手形及び売掛金	1,705	1,930	短期借入金(注)	876	1,062
棚卸資産	1,468	1,331	未払法人税等	17	35
繰延税金資産	68	76	未払費用	95	91
その他の流動資産	282	239	その他の流動負債	348	307
貸倒引当金	△0	△0	固定負債	594	639
固定資産	2,750	2,727	長期借入金	75	119
有形固定資産	1,452	1,476	長期預り保証金	119	130
建物及び構築物	670	699	繰延税金負債	158	133
土地	709	709	退職給付に係る負債	207	225
その他の有形固定資産	73	68	その他の固定負債	33	31
無形固定資産	61	62	負債合計	2,810	3,117
投資その他の資産	1,236	1,188	(純資産の部)		
投資有価証券	1,195	1,145	株主資本	4,840	4,840
繰延税金資産	7	10	資本金	1,609	1,609
その他の投資等	58	57	資本剰余金	1,850	1,850
貸倒引当金	△24	△24	利益剰余金	1,616	1,616
資産合計	8,233	8,468	自己株式	△235	△235
			その他の包括利益累計額	540	469
			その他有価証券評価差額金	480	427
			為替換算調整勘定	93	80
			退職給付に係る調整累計額	△33	△37
			非支配株主持分	42	40
			純資産合計	5,423	5,350
			負債・純資産合計	8,233	8,468

(注) 短期借入金には1年以内返済予定の長期借入金が含まれております。

4. 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売 上 高	3,331	4,043
売 上 原 価	2,665	3,152
売 上 総 利 益	666	890
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	678	727
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△12	163
営 業 外 収 益	80	28
配 当 金	11	9
投 資 有 価 証 券 売 却 益 (注)	54	13
為 替 差 益	8	—
そ の 他 の 営 業 外 収 益	5	5
営 業 外 費 用	9	255
支 払 利 息	8	7
為 替 差 損	—	245
そ の 他 の 営 業 外 費 用	1	2
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	58	△63
特 別 利 益	—	0
固 定 資 産 売 却 益	—	0
特 別 損 失	0	46
投 資 有 価 証 券 評 価 損	—	45
そ の 他 の 特 別 損 失	0	1
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益 又 は 税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失 (△)	57	△110
法 人 税 等	21	△17
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 (△)	36	△92
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	1	0
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益 又 は 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 失 (△)	34	△92

(注) 従来、「特別利益」及び「特別損失」に表示しておりました「投資有価証券売却益」及び「投資有価証券売却損」は、当第1四半期連結会計期間より「営業外収益」及び「営業外費用」に表示することといたしました。

5. 第2四半期連結株主資本等変動計算書 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,609	1,850	1,616	△235	4,840
第2四半期累計期間中の変動額					
剰余金の配当			△34		△34
親会社株主に帰属する 四半期純利益			34		34
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の第2四半期 累計期間中の変動額(純額)					—
第2四半期累計期間中の変動額合計	—	—	0	△0	0
当第2四半期末残高	1,609	1,850	1,616	△235	4,840

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	427	80	△37	469	40	5,350
第2四半期累計期間中の変動額						
剰余金の配当						△34
親会社株主に帰属する四半期純 利益						34
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の第2四半期 累計期間中の変動額(純額)	53	12	44	70	1	72
第2四半期累計期間中の変動額合計	53	12	44	70	1	72
当第2四半期末残高	480	93	△33	540	42	5,423

6. 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	91	△18
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	60	13
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△266	222
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△156
V 現金及び現金同等物の増減額	△112	60
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,238	1,902
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,125	1,963

7. 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 4,000,000株
- (2) 発行済株式総数 1,880,000株 (自己株式168,119株を除く。)
- (3) 株主数 2,372名
- (4) 大株主

株 主 名	持 株 数
M U T O H ホールディングス株式会社	330千株
T C S ホールディングス株式会社	300
C B C 株 式 会 社	43
オ リ ン パ ス 株 式 会 社	42
株 式 会 社 い な げ や	40
栗 本 英 有	38
株 式 会 社 教 育 ソ フ ト ウ ェ ア	35
ハヤカワインターナショナル有限会社	35
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	32
セ コ ニ ッ ク 持 株 会	30

(注) 当社の自己株式(168千株)は、上記の表には、含まれておりません。

8. 取締役

(平成29年9月30日現在)

取締役会長	高山允伯
代表取締役社長	馬場芳彦
取締役	原田博司
取締役	鈴木章浩
取締役	土井次郎
取締役	坂本俊弘
取締役	小林裕輔
取締役 (監査等委員)	平林純一
社外取締役 (監査等委員)	村田憲司
社外取締役 (監査等委員)	大串章

○本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株式に関するご案内

事業年度……………毎年4月1日から
翌年3月31日まで

定時株主総会……………毎年6月下旬
基準日

定時株主総会関係……………毎年3月31日
その他臨時に必要な時は、あらかじめ公告いたします。

配当金支払株主確定日

期末配当金……………毎年3月31日

中間配当金……………毎年9月30日

単元株式数……………100株

(注) 平成28年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

公告方法

当社のホームページ (<http://www.sekonic-hd.jp/>) に掲載します。

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告
をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人・同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問合せ先・郵便物送付先

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

単元未満株式の買取請求・買増請求について

単元未満株式をご所有の株主様は、単元未満株式の買取請求又はお手
元の単元未満株式と合わせて単元株式となる株式の買増請求をするこ
とができます。お手続きは、お取引の証券会社へお申し出ください。
なお、本店特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、上記のみ
ずほ信託銀行本店証券代行部へお問い合わせください。

株式会社 セコニックホールディングス

〒154-0001 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
電話 (03) 5433-3611 (代表)